

日本地衣学会 No.173 ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次

会務報告	683
日本地衣学会第22回大会（東京理科大学葛飾キャンパス，2023年7月15-16日）報告／清水 公德	683
日本地衣学会第22回大会総会（2023年7月15日，東京）報告 ／坂田 歩美	687
日本地衣学会第22回大会に参加して／清水 玲亜	687

会務報告 *Reports of the JSL Activities*

日本地衣学会第22回大会（東京理科大学葛飾キャンパス，2023年7月15-16日）報告

Report of the JSL 22nd Annual Meeting at Tokyo University of Science, 15-16 July 2023 / by SHIMIZU Kiminori

>>>>>>> 清水 公德：第22回大会実行委員長，
東京理科大学 先進工学部 生命システム工学科

日本地衣学会第22回大会を2023年7月15日と
16日の2日間，東京理科大学葛飾キャンパス（東京
都葛飾区新宿）にて，以下の要領で開催いたしました。

* * *

日本地衣学会第22回大会（東京）

- ・日時：2023年7月15日（土），16日（日）
- ・場所：東京理科大学葛飾キャンパス（講義棟 101
教室および402教室）
- ・参加者：131名（一般会員20名，学生会員2名，
他109名（東京理科大学学生））

* * *

7月15日（土）

10:00 - 12:00 評議員会

13:30 - 14:30 公開講演会「地衣類って何？（ヒメ
レンゲゴケを探そう）」原田浩（千葉県立中央博物
館）

15:05 - 16:05 総会

16:10 - 16:40 一般講演

座長：原光次郎（秋田県立大学），河原秀久（株式
会社 KUREI）

[1] O Wonyong Kim, Jaycee Augusto
Paguirigan, Jae-Seoun Hur (Korean Lichen

Research Institute) : Identification of the depside and depsidone biosynthetic gene clusters in lichens.

- [2] ○上田菜央¹, 北島薫¹, 佐藤宏樹², 金子隆之¹, 藤本悠太郎¹, Rakotomamonjy Harilalao Ando¹ (¹京都大学農学研究科, ²京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科) : アンカラファンチカ国立公園における樹皮着生地衣類のハピタット利用 一定量的な樹皮形態分類から一

16:55 - 17:55 一般講演

座長 : 小杉喜美子 (基礎生物学研究所), 綿貫攻 (千葉県立中央博物館外来研究員)

- [3] ○原田浩¹, 原光二郎², 木下薫³, 坂田歩美¹ (¹千葉県中央博, ²秋田県立大, ³明治薬大) : 日本産地衣類の総合的なデータベースの整備とウェブ公開 (2023)

- [4] ○原光二郎¹, 坂田歩美², 木下薫³, 原田浩² (¹秋田県立大, ²千葉県中央博, ³明治薬大) : 日本産地衣類のDNAバーコードライブラリーの整備

- [5] ○坂田歩美¹, 原光二郎², 谷口潤², 菅原晴香², 谷川寛典³, 清水玲亜³, 木下薫³, 原田浩¹ (¹千葉県立中央博物館, ²秋田県立大学, ³明治薬科大学) : 日本産海岸生 *Orientophila* 属

- [6] ○木下薫¹, 清水玲亜¹, 谷川寛典¹, 坂田歩美², 原田浩² (¹明治薬大, ²千葉県中央博) : 日本産海岸生地衣類の LC-MS による化学成分の分析と分類への応用(4)

18:20 - 20:00 懇親会 (東京理科大学学生食堂)

7月16日(日)

10:00 - 11:00 一般講演

座長 : 坂東誠 (大阪市立自然史博物館外来研究員),

小峰正史 (秋田県立大学)

- [7] ○清水玲亜¹, 木下薫¹, 藤原恒司¹, 坂田歩美², 原田浩² (¹明治薬大, ²千葉県中央博物館) : 日本産ウメノキゴケ属 *Parmotrema* 地衣類の LC/MS による化学成分の分析と分類への応用

- [8] ○甲斐久博¹, 山本美枝¹, 加未悠人¹, 清水玲亜², 木下薫², 原田浩³ (¹九州保健福祉大学薬学部・薬学科, ²明治薬科大学薬学部・生命創薬科学科, ³千葉県立中央博物館) : EI-MS による地衣類縁種の分類法の検討 (第3報)

- [9] ○小杉真貴子¹, 川崎政人², 柴田稔³, 原光二郎⁴, 高市真一⁵, 安達成彦², 守屋俊夫², 亀井保博⁶, 工藤栄⁷, 菓子野康浩⁸, 小池裕幸⁹, 千田俊哉², 大谷修司¹⁰, 豊田 敦¹¹, 西出浩世¹², 皆川純¹ (¹基生研・環境光, ²高工ネ機構・構造生物, ³東北大・理, ⁴秋田県立大・生物資源, ⁵東京農大・生命, ⁶基生研・超階層, ⁷極地研・生物圏, ⁸兵庫県立大・生命理, ⁹中央大・理工, ¹⁰島根大・教育, ¹¹遺伝研・ゲノム・進化, ¹²基生研・データ統合) : トレブクシア藻綱における遠赤色光利用型光合成の潜在性

- [10] ○中島啓光 (埼玉大学大学院・理工学研究科) : ヤグラゴケ共生藻の光合成効率に対する黒土散布の影響

11:15 - 12:00 一般講演

座長 : 佐藤大樹 (森林総合研究所), 坂田歩美 (千葉県立中央博物館)

- [11] ○新井大貴, 三浦大輝, 中村洋介, ニュエン・フン・タオ, 清水公徳 (東京理科大・生命システム工) : 昆虫病原菌 *Cordyceps cardinalis* のオスポレインクラスター遺伝子の異種発現

[12] ○中村洋介, ニュエン・フン・タオ, 清水公徳 (東京理科大・生命システム工) : 昆虫病原菌 *Cordyceps cardinalis* の形質転換の検討

[13] ○清水公徳¹, ニュエン・ゴック・ホン¹, 小竹ひとみ¹, 永田彩奈¹, 平野敦春¹, ニュエン・フン・タオ¹, 今西(清水)由巳² (¹東京理科大・生命システム工, ²関東学院大理工) : *Cladonia rei* から分離される酵母類

12:00 - 12:10 閉会式・学生発表賞の授与

* * *

1 日目は評議員会, 公開講演会, 総会, 一般講演, 懇親会が行われました。総会では 2022 年度事業報告および 2023 年度事業計画案の報告・審議が行われました。

公開講演会は千葉県立中央博物館の原田浩先生による「地衣類って何? (ヒメレンゲゴケを探そう)」のタイトルで行われました(図 1)。あらかじめ, 東京理科大学の学生にも一般公開することを原田先生に相談しまして, 地衣に関する初歩的な内容から盛り込んでいただけるようお願いしておりましたので, 日本地衣学会の会員の方々には物足りない内容だったかも知れませんが, 参加者はトータルで 100 名以上に上りました(図 2)。

1 日目の一般講演では地衣類のゲノム解析に関する話題, マダガスカル島における地衣類の生態, 地衣類のデータベースに関する整備の進捗状況や DNA バーコードライブラリーについて, 日本海岸生地衣類に関する分類および化学成分分析に関する話題が発表されました。

懇親会は, 東京理科大学学生食堂にて開催されました。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 問題の収束後, 初めての懇親会開催となりましたが, とくにトラブルもなく和やかながらも活発に情報交換が行わ



図 1. 公開講演会の原田氏。



図 2. 原田氏による公開講演会の様子。



図 3. 懇親会の様子。

れました(図 3)。

2 日目の一般講演では地衣類の化学分析とその分類への応用に関する話題, 共生藻の光合成に関する研究, 昆虫病原菌の二次代謝産物および形質転換系確立に関する話題, 地衣に共生する酵母に関する研究が発表さ

れました（図4）。

閉会式（図5）では学生発表賞の授与が行われ、上田菜央氏（京都大学大学院農学研究科）と清水玲亜氏（明治薬科大学大学院生薬学研究室）の2氏にB賞が授与されました（図6）。

なお、本大会の収支は表1の通りです。本大会の開催にあたり、ご協力いただきました会員の皆様方、共催をお引き受けいただいた東京理科大学に厚く御礼申し上げます。



図4. 一般講演の様子。



図5. 閉会式の様子。



図6. 学生発表賞記念撮影（左から上田菜央氏、木下薫会長、清水玲亜氏）。

表1. 大会収支

1) 収入

項目	種別	徴収額(円)	人数	小計(円)	備考
大会参加費	一般会員	3,000	20	60,000	
	学生会員	1,000	2	2,000	
	他	0	109	0	東京理科大学との共催のため、理科大生の聴講は無料
	合計		131	62,000	
懇親会費	一般会員	5,000	18	90,000	
	学生会員	0	2	0	
	合計			90,000	
前回大会余剰金				5,870	
総計				157,870	

2) 支出

項目	細目	単価(円)	数量	小計(円)	備考
会場費	会場借用費	16,800	一式	16,800	東京理科大学(講義棟 401/402 教室)
飲食費	懇親会オードブル	80,000	一式	80,000	TUS ダイニング
	懇親会オードブル	5,962	一式	5,962	オリジン弁当
	飲料類	12,946	一式	12,946	いなげや
アルバイト代	受付アルバイト	4,000	2名	8,000	
	会場アルバイト	13,500	2名	27,000	
送料	宅配便	1,061	1件	1,061	
余剰金				6,101	
総計				157,870	

日本地衣学会第 22 回大会総会 (2023 年 7 月 15 日, 東京) 報告

Report of the General Meeting at 22nd Annual Meeting of the JSL (Tokyo, 15 July 2023) / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美 : 庶務幹事

日本地衣学会第 22 回大会総会を 2023 (令和 5) 年 7 月 15 日, 東京理科大学葛飾キャンパスにて開催いたしました。坂田歩美庶務幹事が当日を含め今年度中に開催された 4 回の評議員会での報告事項, 審議事

項, 承認事項などについて報告いたしました。皆様のご協力を得まして, 滞りなく総会を終了することができました。

日本地衣学会第 22 回大会に参加して

My Impression for the 22nd Annual Meeting of JSL, July 2023 / by SHIMIZU Reia

>>>>>>> 清水 玲亜 : 明治薬科大学大学院 薬学研究科
生命創薬科学専攻 博士前期課程 2 年

私は前回大会にて初めて発表させていただき, 今大会は 2 回目の発表でした。昨年の大会は, 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりオンライン形式での開催でしたが, 本年は東京理科大学での開催となり, 対面形式での発表は初めての経験だったため, 楽しみであると同時に少し緊張もしていました。前回大会では, 参加者の皆様と直接顔を合わせて交流することが叶いませんでしたが, 今大会では参加された皆様とお話しながら議論することができ, 大変勉強させていただきました。

私は, 学部 4 年の時に現在の研究室に配属されましたが, 大学院生になって地衣類の研究に携わらせていただくことになりました。それまでは地衣類という生物について, 言葉は知っているものの, 実体についてはあまり知りませんでしたが, 『藻類と共生する菌類』という特殊な生態について学ぶうちに興味を持ち, 地衣類の研究を始めました。私は現在, LC/MS による地

衣成分の分析を行い, 既知成分の含有確認と共に含有未報告の成分も同定することで, LC/MS の結果を地衣類の分類に応用することを目的として研究に取り組んでいます。今回本大会に参加し, たくさんの方の発表を聴かせていただけたことで, 地衣類について様々な視点から触れることが出来ました。普段勉強している地衣成分のみならず, 形態学や遺伝子学的な側面からなど地衣類に関する知見を深めることが出来, また, 自分の研究方法や発表方法について改善点を多く見つけることが出来たため, 大変良い刺激をいただくことが出来ました。

最後にこの場をお借りして, 清水大会実行委員長をはじめとする大会の開催・運営に携わってくださった皆様, 本大会を通してお世話になりました先生方, そして参加者の皆様に深く感謝申し上げます。

◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 173, pp. 683-688: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 16 Oct. 2023.

日本地衣学会ニュースレター173号

発行日：2023年10月16日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館内

©2023日本地衣学会 (© 2023 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。